



瀬戸大橋とツツジ 撮影：河田隆弘様

地域住民に信頼される病院

目 次

- P1. 副院長先生のお話し
- P2. 病気のお話し～山崎泰源 Dr.～
- P3. 部署紹介～児島聖康病院編～
- P4. 部署紹介～向日葵編～
- P5. 行事（シーホーム向日葵編）
- P6. 行事（入院患者様とリハビリ職員のお花見）
& 新人紹介



我が家のペット史

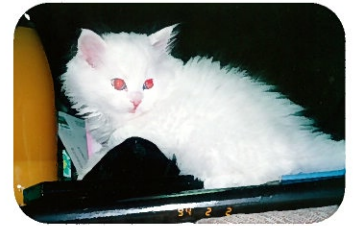
医療法人社団五聖会 副院長 坪井淳

最近巷ではペットが大人気で、特に猫に注目が集まっているようで、二兆円産業とも言われているが、我が家ではペットブームの始まる以前の今から三十四・五年前から犬を飼

い始めた。先ずミックス犬に始まり、秋田犬のトラ、ゴールデンレトリバーと飼い継ないだがこれらは既に此の世に居ない。現在はトイプードルの茶と黒を各一匹飼っている。一方猫の方は、ゴールデンレトリバーと重なってペルシャ、アメリカンショートヘア、ミックス、



チンチラと飼い継なぎ、昨年末にチンチラの最期を看取ってからは我が家に猫は居なくなった。ところで、これらのペットの中で特筆すべき猫が居た。それが最初に飼った白いペルシャだった。我が家に来て半年位経って検診を受けた時のこと、獣医さんいわく、この猫は視覚・聴覚が無いと思うとのこ



と。しかし半年間にせよ無事に食事を食べて大きくなっていることからして、どうやら臭覚は残っていて、それが食欲をカバーして命を継ないでいたようだ。これには我が家一同驚いた。ペットショップから引取るとの話もあったが、ここまで飼って手放すには忍びないということになり、そのまま飼うこととなった。それからというもの一人前に育つか心配しつつ見守っていたが、時が経つにつれ我が家の空いている部



屋から部屋への移動を何のトラブルも無くまるで座頭市の如くスムーズにやっつのけ、一階と二階との間の階段も、一度長女が踏み外したことのある急な階段だが、一段、一段確実に踏み外すことも無く素早く上下していた。これはこの猫が



如何に素晴らしい空間を把握する能力を持っていたかが分かる行動だった。その後他の犬や猫とも仲良く暮らしていたが、ある日の朝、妻が玄関の扉を開けたまま庭いじりをしている間に、この猫が初めての外の空気に透われたのか勝手に外に出てしまったようで姿が見えなくなりました。慌てて外を捜し回ったものの見つからず諦めかけたところ、たまたま午後帰宅した私が駐車場に車を入れて車から降りた時、駐車場の前の道路の側溝の中を家とは



反対の方向へ向かってヨロヨロと真黒くなって歩いている猫が目に入った。こうして偶然のタイミングで発見したのだが、この猫は玄関を出て家の前の川に掛かった橋を落ちることも無く渡り、道路に出て車にひかれることも無く側溝に入り、ウロウロしているところを無事連れ戻すことが出来たのだった。さすが、座頭市猫も家を出てしまうと、急な空間の変化に対応出来ずに家の周りをウロウロするしか無かったのだろう。それにしても川に落ちること無く、車にひかれることも無く四・五時間無事で居れたのは、この猫の持つ生命への危険に対する勝れた予知能力の賜物だと思わざるを得ない出来事だった。この猫は障害を持つ猫としては比較的長く生き、最後は腹部に腫瘍が出来、一二・三年の寿命を全うした。

現在我が家のペットは前述した十歳の黒色のトイプードルと六歳の茶色のトイプードルだけになってしまった。小型犬も可愛い



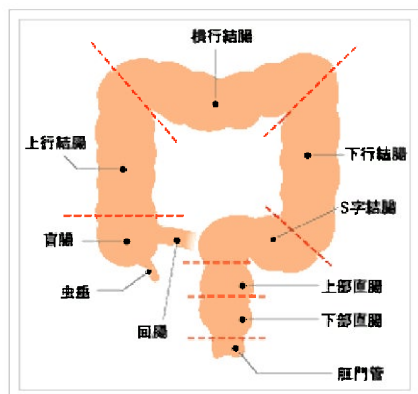
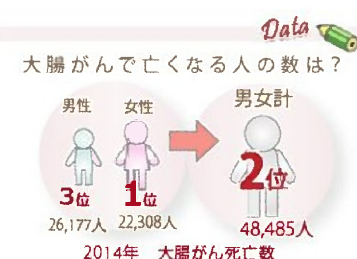
が、よく吠え、自己主張が強く、わがままで時には疎ましくなることがある。もう一度、主人に従順で、ゆったりと堂々とした大型犬を飼いたいと思うことがあるが、我々夫婦の年齢からして犬の寿命に充分お付き合い出来ない可能性があり、残った家族に迷惑をかけてもいけないので諦めている。これからは、二匹のトイプードルと仲良くお互いの寿命の許す限り暮らしていこうと思っている。今迄我が家で過ごし、亡くなっていったペット達に改めて感謝の意を込めて合掌。

病気のおはなし～大腸～

外科部長 山崎 泰源

大腸と聞いて頭にまず浮かんでくる病気といえばやはり大腸がんではないでしょうか。大腸がん罹患する人は年々増加しており、癌死因では第二位となっています。その背景としては、高齢者数の増加や食生活の欧米化などが挙げられますが、一番の問題は胃疾患などに比べ一次・二次予防対策がしっかりしていないことだと考えられています。

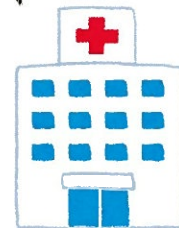
現在、便潜血検査と呼ばれる便に血が混じっていないかどうかを調べる検査が大腸がん検診として行われていますが、例えば“痔”があれば陽性になってしまうこともありますし逆に大腸がんがあったとしても血が混じらずに陰性になってしまうこともあり、胃検診で行われるバリウム造影や胃カメラに比べ非常に不確実なものであります。そこで当院が行っている検査が大腸内視鏡検査です。この検査は、肛門から内視鏡を挿入し盲腸と呼ばれる大腸と小腸の分岐点まで観察する検査ですが、「肛門から内視鏡をいれるの？恥ずかしい！」とか「1メートルも内視鏡が入るなんて・・・しんどくて痛いんじゃない？」など悪い印象が強いのが現状です。しかし最近では、内視鏡機器の改良や挿入技術の向上で以前より安全かつ楽に検査ができるようになりました。内視鏡のメリットは、大腸にポリープや腫瘍を発見するだけでなく、組織を採取し早期に診断ができ、ポリープや早期がんであれば内視鏡手術によってお腹を切らずに治すこともできるということです。人



は食事なしでは生きていけません。毎日食事をすることで大腸も毎日働いているのです。人間だけが故障しないというわけにはいきませんから、毎日使うもの（大腸）は少なくとも二年に一回はメンテナンス（検査）してあげることをお勧めします。

☆部署紹介～児島聖康病院編～☆

2階ナースステーション



2階は、医療療養型病棟です。

医療療養型とは、慢性期の状態にあって、入院医療を必要とする患者さんの病床です。早期退院が困難で入院期間が長期に及ぶため、比較的少ない費用負担で、重度の要介護者を受け入れ、充実した医療処置と様々な機能回復訓練を提供しています。

- メリット
- ① 医療ケアが充実している
 - ② 機能回復訓練が充実している
 - ③ 利用料が比較的安い



2階看護師は、安全安心安楽をモットーにしています。

看護師・看護助手によるカンファレンスを行い、患者さん一人一人の問題点をあげ、密に情報交換を行いながら、日々、安全に活動できるよう、援助しています。

また、一人一人の観察を十分に行うことによって、安心安楽に過ごせるように心掛けています。

そして、入院期間が長期に及ぶ患者さんが多くコミュニケーションをとることは不可欠となり、患者さんの訴え・希望に寄り添いながら看護・介護を行っています。



☆部署紹介～向日葵編～☆

グループホーム向日葵 2階ユニット

くらしのニュース向日葵便りでお馴染みのグループホーム向日葵です。どうぞよろしくお願い致します。

当ユニットでは、自分が将来入りたいグループホーム作りを目指しています。入居者の皆様には、優しさと笑顔をもっとに接する事を一番に心がけています。また、一人ひとりの入居者様が生き生きと生活して頂く為に個々の今持っている能力を出来るだけ生かしていくよう、日々努力しております。自分で何か出来れば楽しみのある暮らしとなってきますし、こんな楽しさが少しでも増えるようにお手伝いをしております。また、入居者様同士が仲良くお話しされている姿を見ていますと、私たちスタッフもとても微笑ましく思います。これからも入居者様やご家族様に



『 向日葵で生活してとても明るくなった 』

と言われる様に日々を大切にサポートしていきたいです。



向日葵レンジャー^{ジョセブン}女 7 ー同

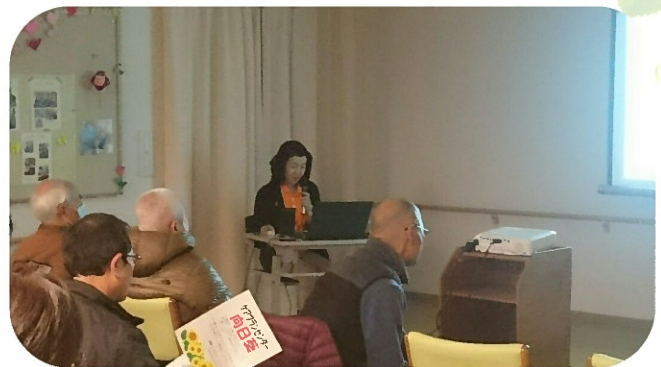


シーホーム向日葵の行事



去る2月18日（木）シーホーム向日葵にて琴浦
地区民生委員の方々をお招きし、「琴浦地区 安心・
快適な老後の暮らしを考える会」を開催致しました。

当日は琴浦東・西地区から28名の民生委員の方々にお集まりいただき、
山崎泰源医師による「高齢化社会の現
状と医療の役割」の講演と、シーホー
ムでの生活について説明及び施設見学
を行いました。



民生委員の皆様には担当地区での日々の活動でお世話になり、またお忙しい
中、お越しくださいまして有難うございました。

シーホームでは百点満点の生活を提供することは出来ませんが、「ここの生活
も悪くない」を目指していきたいという想いを拙い説明の中で喋らせていただ
きました。

去年の3月にオープンし、今現在
20名足らずの方に入居いただい
ております。今後ともどうぞよろし
くお願いいたします。



シーホーム向日葵 是友敬子



お花見

毎年桜の咲く時期になると、入院患者様にも「春を感じて頂きたい！」とリハビリスタッフで「お花見」を計画します。今年は少し肌寒く感じる日でしたが、ドライブ組と散歩組に分かれて行くことができました。ドライブ組は車窓から町の景色を楽しみながら鷺羽山まで足を延ばしました。散歩組は1便・2便に分かれて、スタッフ補助のもと車椅子で病院から400mほど離れた公園まで行きました。

桜がみられるまでの道のりも、患者様とスタッフでわくわくして話が弾みます。桜が見えると、患者様の表情が一気に明るくなり「きれー！」「これでよかった！」と喜ばれていました。言葉が話されない患者様もとても良い表情をされていました。病院生活ではなかなか見ることが出来ない「満面の笑み」にスタッフは毎年うれしくなります。

「お花見」を通して少しでも気分転換になり、今後の生活の活力になればさらにうれしいなと思います。



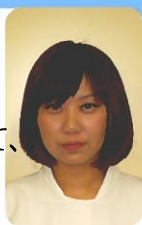
リハビリテーション科 藤田真由

新人紹介



しばらく医療現場を離れていて、緊張や不安もありますが、毎日、優しい先生方や先輩方に助けて頂きながら勉強中です。患者様から教わる事も日々沢山あります。笑顔と丁寧な看護を心掛けて頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

外来看護師 佐藤 恵理



個々の患者様に合った看護を、誠意を持って行いたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

3階病棟看護師 鬼頭 恵里



4月から働かせて頂いていますが、ご迷惑をおかけすると思いますが、先輩方に御指導を頂きながら患者さまに安全・安心な看護が出来るよう頑張りますので、よろしくお願いします。

3階病棟看護師 山元 美樹

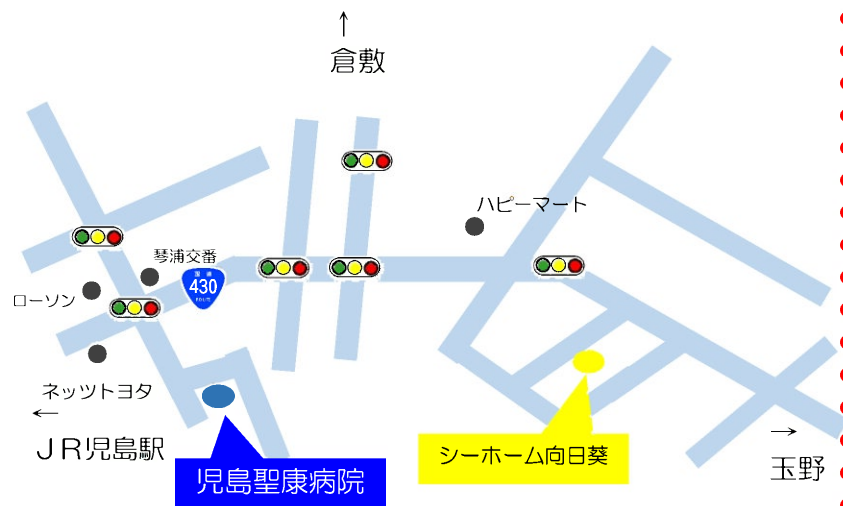
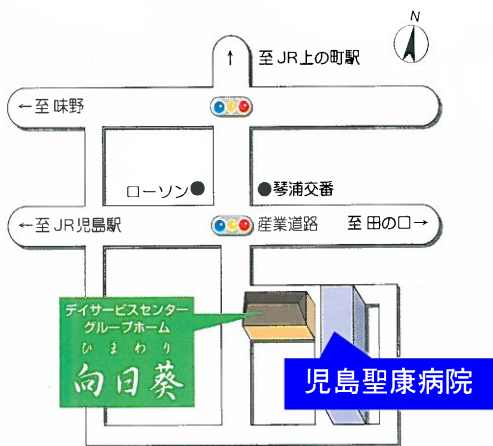


4月からこの病院の厨房で仕事をさせて頂いています。まだまだ仕事面は分からない事だらけで大変ですが、職場の皆さんの暖かい励ましを裏切らない様に頑張れたらと思っています。よろしくお願いします。

厨房 池井 たみ子



ア ク セ ス



児島聖康病院診療時間表

	診療科目	月	火	水	木	金	土
午前	外来 (9~12時半)	山崎泰源	坪井副院長	山崎泰源	交 替	坪井副院長	山崎院長
	皮膚科 (9~12時半)	神原宏枝	休 診	神原宏枝	休 診	神原宏枝	休 診
午後	外来 (15~18時半)	寺戸通久	佐藤浩明	非常勤医師	休 診	大原利章	伊藤雅典
	ヘルニア外来 (15~18時半)	山崎泰源	山崎泰源	山崎泰源	休 診		山崎泰源
	整形外科 (13時半~16時)				休 診		森正樹
	泌尿器 (16~17時)				休 診		非常勤医師

※禁煙外来は月~水・金・土曜日の15時~18時半までの診療

医療法人社団五聖会

児島聖康病院

〒711-0906
岡山県倉敷市児島下の町10-374
TEL 086-472-7557
FAX 086-472-1143
<http://www.seikoh-hp.or.jp/>

医療法人社団五聖会

向日葵

〒711-0906
岡山県倉敷市児島下の町10-374
デイサービスセンター向日葵 TEL 086-473-7736
グループホーム向日葵 TEL 086-473-7756
訪問看護ステーション向日葵 TEL 086-472-3312
ケアプランセンター向日葵 TEL 086-473-8876
FAX 086-473-7728

医療法人社団五聖会

シーホーム向日葵

(サービス付き高齢者向け住宅)
〒711-0903
岡山県倉敷市児島田の口7-1-16
TEL 086-477-4165
FAX 086-477-4167



地域医療

児島聖康病院

医療法人社団五聖会

リハビリテーション

訪問
リハビリテーション
短時間通所
リハビリテーション

介護 福祉

訪問看護ステーション向日葵
ケアプランセンター向日葵
デイサービスセンター向日葵
グループホーム向日葵
シーホーム向日葵
ヘルパーステーション向日葵